

事務事業評価表 平成22年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 交通環境の充実
 基本事業 移動交通手段の充実

事業名 **豊幌駅舎共同管理経費(補助金)**

[0283]

部名	企画政策部	事業開始年度	昭和59年度	実施計画事業認定	非対象
課名	企画課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>豊幌地区の自治会</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>豊幌駅に管理人が配置されることにより、利用者の利便性、安全性を図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>豊幌両自治会連絡協議会に補助金を交付し、自治会による駅舎管理を支援する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	豊幌地区の自治会数	自治会	2	2	2	2
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	550	550	550	550
活動指標2						
成果指標1	豊幌駅の利用に関する苦情件数	件	0	0	0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	550	550	550	550
正職員人件費 (B)		千円	419	418	415	833
総事業費 (A) + (B)		千円	969	968	965	1,383

費用内訳	
21年度	負担金 補助及び交付金 550千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	昭和59年の無人化に伴い、江別市と地元自治会で補助金を交付し管理人を置くこととなった。	事業を取り巻く環境変化	市の補助金は平成13年度に510千円から550千円に増額している。 ・18年度にはプラットホームに屋根付きの待合所が数箇所設置され、利便性の向上が図られた。
--------	---	-------------	---

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は？

江別市が補助金を交付することにより本来無人である駅に管理人が配置され、利用者は安心して駅を利用することができる。また、JRからは管理委託料が払われており自治会も一部運営費を負担しているなど、市民協働の事業であり市も補助金を交付することは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は？

補助金を交付することにより継続的に管理人を置くことができ、駅舎の利便性が確保されているので、貢献していると考えられる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は？

駅舎の管理人を継続的に確保できておりそれにより利用者が安心して利用できる状態になっている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は？

駅舎の管理については、JR北海道と自治会との契約が主体であり利用者が安心して利用できるよう現在の状況を維持する。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由・
 根拠は？

現在の管理人報酬は時給510円程度と道の最低賃金を大幅に下回っているが、これは純粋な雇用関係とは違う3者共同の事業であるため成立しているもので、市が補助金を減額することになれば、この水準ですら維持できなくなり管理人の継続確保に支障を来す可能性が高い。